

日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会 PRA 品質確保分科会
第 40 回会合議事録 (案)

日時：2022 年 1 月 25 日 (火) 13:30～14:45

場所：Cisco WebEx Meeting による Web 会議

出席者 (敬称略)

委員：桐本主査 (電中研)、竹次幹事 (関電)、木村 (日立 GE)、
倉本 (NEL)、小森 (東芝 ESS)、齋藤 (東電 HD)、櫻井 (原電)、田中 (MHI)、
小林 (中部電)、日高 (テプシス)、吉田 (JAEA)

11 名出席

常時参加者：寺崎 (九電)、山本 (原電エンジニアリング)

傍聴者：なし

欠席委員：糸井 (東大)

配付資料：

- RK4SC40-1 : 第 39 回 PRA 品質確保分科会議事録案
 RK4SC40-2-1 : 原子力施設の確率論的リスク評価における共通要求事項に関する実施基準：202X (案) 2022/1/25 版
 RK4SC40-2-2 : 米国における PRA メンテナンスと PRA アップグレードの分類について
 RK4SC40-2-3 : エラー対応に係る標準修正案
 RK4SC40-3-1 : “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版の作成について (標準委員会中間報告)
 RK4SC40-3-2 : IRIDM 標準英語版 クロスチェック コメント対応表
 RK4SC40-3-3-1 : “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版 (専門部会報告版 (案) (2022/1/24 版、見え消し))
 RK4SC40-3-3-2 : “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版 (専門部会報告版 (案) (2022/1/24 版))
 RK4SC40-参考 1 : 分科会名簿

議事：

1. 定足数の確認

委員 12 名中 11 名が出席しており、本会議が議決に必要な定足数を満足していることが確認された。

2. 前回議事録の確認 (RK4SC40-1)

RK4SC40-1 に基づき、第 39 回分科会の議事録を確認し、正式版とすることが了承された。

3. 「共有要求事項に関する実施基準」について

RK4SC40-2-1～2-3 に基づき、竹次幹事より米国における PRA メンテナンスと PRA アップグレードの分類やエラー対応を踏まえた標準修正案について報告があった。6.3 項の注記のうち「PRA 技術及び産業界の経験～」以降の記載について、ISO9001：2015 を受けた追記であることから記載を残し、表現を要求の形に変えた上で 6.3 項の本文冒頭に移すこととなった。また、6.3 項の「PRA のアップグレード」の記載のうち「PRA 標準の要求事

項を満足させるための～」については従来手法が PRA 標準の要求事項を満足していないように解釈できることから、「従来ピアレビューで確認されていない」等の表現に修正することとなった。併せて、付属書 C の PRA メンテナンス及びアップグレードの例について、本文の記載と整合するよう修正をすることとなった。

4. 原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019 英訳版の作成について

RK4SC40-3-1～3-3-2 に基づき、倉本委員から「原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019」英訳版の作成についての検討状況と今後のスケジュールについて報告があった。標準委員会コメント及びクロスチェックコメントの反映等を実施した最終案について、リスク専門部会への報告が了承された。

5 次回分科会日程

次回分科会日程は別途調整することとなった。

以 上